

豊田副武 とよた したけ 舊海軍軍人。明治十八年五月、二十一日大分縣生れ、昭和二十一年九月、二十一日歿（八五—九五）。海軍立學校、海軍大學校卒。昭和十七年大將、吳鎮守府司令長官、十九年聯合艦隊司令長官、翌年海軍總司令長官、更に軍令部總長となり、海軍の最高責任者として終戦。

著書『最後の帝國海軍』(昭和二十五年四月)二十日世界の日本社「顔
最善」(一)等。